

備前市事務事業評価表

事務事業名	公園整備事業		コード	01-01-07-01
			担当課・係	都市整備課・都市計画係
			担当者	大森賢二
事業実施期間			電話	0869-64-1834
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	公園緑地		

事業について	
目的 (何のために)	公園整備を行うことによって、公園利用者の利便性の向上を図るため
対象 (誰・何を対象に)	公園利用者
内容	公園施設の整備

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
公園施設整備	1 箇所	4 箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,190	国庫補助金等		直接事業費	10,106	国庫補助金等	
	人件費	4,773	受益者負担		人件費	2,503	受益者負担	
	合計	6,963	一般財源等	6,963	合計	12,609	一般財源等	12,609

必要人員	0.20 人	0.20 人	
結果指標名	公園施設整備数	公園施設整備数	
結果指標量	1	4	
単位	箇所	箇所	
対前年比	-	400.00%	0.00%
活動にかかるコスト	2,820,000 円	12,609,000 円	
単位当たりコスト①	2,820,000 円	3,152,250 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	安全で安心して利用でき、かつ、楽しむことができる公園		
成果指標名	公園整備箇所数	式又は説明	公園整備工事数
	17年度	18年度	
成果指標量	1	3	
対前年比	-	300.00%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 都市公園法	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	公園を利用する市民は、子ども連れの家族、近所の住民、桜の季節のみという偏りがある。市民全員が利用してみたいという魅力ある公園を目指す。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	公園整備にあたっては、費用対効果を十分検討しコスト削減を図っていく。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	公園利用者の安全性と利便性の向上を図ることができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況		説明 公園1箇所の園路柵改修を実施している。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量① 1箇所	結果指標量②
	成果指標量 100%	

総合評価	評価区分 <A~E> B
開園以来老朽化している遊具には、特に注意が必要であり、また、公園内施設にも老朽化している施設がかなりあるため年次的に整備を行っていく必要がある。	

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	費用対効果	毎年度	安全性と利便性の向上